議 事 録

会議名	2025年度 第1回 地域連携推進会議
開催日時	2025年6月20日(金) 9時30分から10時25分まで
開催場所	青谷学園 会議室
構 成 員	A氏（青谷学園ご利用者様） B氏（DOご利用者様） C氏（青谷学園ご利用者様家族） D氏（DOご利用者様家族） E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会） F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課） G氏（福祉・経営に知見のある人） 小林 靖尚（青谷学園施設長） 森村 章仁(DO施設長)
議 案	1 地域連携推進会議について 2 会議の構成員および役割 3 施設等やサービスの透明性・質の確保 （1）利用者の日常生活の様子について （2）経営状況の報告 （3）BCP(業務継続計画)の策定状況について 4 施設等と地域との連携 （1）近隣からの苦情等の共有 （2）地域行事のご案内 5 利用者の権利擁護 （1）虐待、事故等の報告 （2）支援者の様子(日頃の支援状況や研修参加状況など) （3）利用者の意向の反映 6 構成員からの報告 7 事業所内見学
議事進行	森村 章仁（DO施設長）
内 容	1 地域連携推進会議について 2 会議の構成員および役割 3 施設等やサービスの透明性・質の確保 （1）利用者の日常生活の様子について （2）経営状況の報告 （3）BCP(業務継続計画)の策定状況について 4 施設等と地域との連携 （1）近隣からの苦情等の共有 （2）地域行事のご案内 5 利用者の権利擁護 （1）虐待、事故等の報告 （2）支援者の様子(日頃の支援状況や研修参加状況など) （3）利用者の意向の反映 上記の内容に関して、資料を基に森村章仁(DO施設長)と小林靖尚(青谷学園施設長)から説明がありました。 議事進行役から、質問や意見がないか尋ねられましたがありませんでした。 6 構成員からの報告 D氏(DOご利用者様家族) ・昔は買い物や味覚狩り、他にも食事をする行程の外出に、私たち家族も一緒に参加することができました。最近では家族に声が掛からないのはなぜでしょうか？先日の下呂温泉旅行も声が掛かりませんでした。 ・子どもと一緒に見学や食事ができる外出に、親としても参加したいという声を通所のご家族からも聞きます。

森村章仁（DO施設長）

- ・参加できないわけではありません。昔はご家族様も買い物の時に一緒に来てくれていましたが、最近のご家族様も高齢になり、なかなか参加されないようになりました。外出先によっては参加定員などもあります。買い物などは現地に来ていただいて一緒に楽しんでもらえればと思います。
- ・宿泊旅行に関しては、通所の方は夜間のサービス「施設入所支援」がありませんので、お誘いをしていません。

D氏（DOご利用者様家族）

- ・施設長が変わって青谷学園と合同でイベントを行っていますが、青谷学園とDOの家族が交流する機会がなく寂しく思います。

森村章仁（DO施設長）

- ・家族の会がなくなったことから、家族間の交流自体は減っています。事業所を越えての交流はしていただいて構いませんが、年々イベントに参加されるご家族様も減っています。

C氏（青谷学園ご利用者様家族）

- ・ホテルでのパーティーには夫婦で参加していますが、コロナ禍での入所だったので家族の会にも参加できませんでした。仕方のない部分もありますが、顔見知りが少ないとは思っています。
- ・先ほどの報告の中で、「スピーチロック」のことを聞かせてもらい、親としてハッとしました。どうしても親なので、子どもに対して強い言葉を掛けてしまうことがあります。職員さんはいつも優しい言葉がけをしてくれていますが、こういった研修でも専門的に学んでくれているのを知れてありがたいです。

D氏（DOご利用者様家族）

- ・うちの子どもも「施設に行きたい」と言ってくれ、とてもありがたいと思います。職員さんの接し方が良いのだと思います。
- ・親なき後も考えると、入所に移りたい気持ちはありますがなかなか親離れできず、入所となると子どもが嫌がり、離れられないのが困っています。短期入所からでも試してみたいです。

森村章仁（DO施設長）

- ・DOだけではなく、青谷学園でも空床型の短期入所がありますので、タイミングが合えば試してもらえればと思います。

E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会）

- ・以前に他の民生児童委員と一緒に見学させてもらった時、初めて見学に来られた方は、青谷学園とDOとで入所する条件的な違いはあるのかという疑問がありました。特に、青谷学園は建物も立派で綺麗なもので、入所するのは料金的にも難しいのではないかという印象を持つ方もいたようです。

森村章仁（DO施設長）

- ・もともとは、更生施設と授産施設という違いがあったので、重度の方が青谷学園に多く、比較的軽度の方がDOに多いという違いはありますが、入所する条件に差があるわけではありません。

小林靖尚（青谷学園施設長）

- ・利用料金についても施設間で違いはありません。

E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会）

- ・地域の方からの相談で、お困りの方が入れば福祉課に繋ぐことが多いですが、緊急なら青谷学園を勧めても良いでしょうか。

森村章仁（DO施設長）

- ・お近くの地域の方を優先することになっています。いつでも相談にお越しください。
- ・最近では入所施設の利用希望者が減ってきているように感じています。原因はやはりグループホームの増加でしょうか。

F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課）

- ・確かに市外にグループホームが増えてきています。ただ、全体的に居宅介護、重度訪問介護の事業所が増えているので、グループホームや入所施設よりもご自宅で看られる方が増えていると思います。

E氏（地域の関係者/城陽市民生児童委員協議会）

- ・在宅で看ている方から「親亡き後の心配がある」という声をよく聞きます。
- ・本人の意思是「自宅での生活」を希望されていますが、一人暮らしは到底できないので心配されています。その方には兄弟がおられ、親亡き後は兄弟さんが看ると言っておられますが、親としてはその兄弟の生活の負担になるのではと心配されています。
- ・入所施設を探しているのであれば、青谷学園を紹介します。気軽に入所施設に相談できることをもっと知ってもらえればと思います。

G氏（福祉・経営に知見のある人）

- ・こういった会議に当事者参加が必須となってきていますが、実際にはなかなか難しい部分もありますね。
- ・青谷学園に関しては施設が清潔で、当事者にとっては住環境が清潔で整っているということとはとて

	も大切なことだと思っています。 ・報告の途中で、森村施設長がご利用者様に「資料についてわかりますか？」という声掛けがあり、普段から配慮がされているのだと感じました。 A氏（青谷学園ご利用者様） ・コンビニに行きたい。 B氏（DOご利用者様） ・和歌山に旅行にいきたいです。 森村 章仁（DO施設長） ・旅行の行先は検討します。 ・グループホームや、他のところで生活したいとかありませんか？ A氏（青谷学園ご利用者様） ・難しい。 B氏（DOご利用者様） ・今のところはこのままで良いです。
事業所内 見学	7 事業所内見学(10時25分～11時30分) 事業所内を見たことのないF氏(市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉部)のみ森村章仁(DO施設長)が案内しました。他の参加者の方は頻繁に事業所を見学されているので、今回は見学の希望はありませんでした。 〈青谷学園の感想〉 F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課） ・初めて見学しましたが、ホテルのようなきれいな建物です。ICT機器やロボット機器が充実しています。 〈DOの感想〉 F氏（市町村担当者等/城陽市福祉保健部福祉課） ・初めて見学しましたが、皆さん素敵な絵を描かれているのですね。 ・C a f e ではご利用者様がしっかり活躍されていて良いです。
次回の 開催予定	次回の開催 日時 2026年6月 未定（6月の評議員会前に開催）